

松総平第19号
令和4年8月23日

第27回松本市平和祈念式典実行委員 各位

第27回松本市平和祈念式典実行委員会
実行委員長 春日 孝介

第27回松本市平和祈念式典及び平和の集いの反省等について（依頼）

残暑の候、ますますご清祥のこととお喜び申し上げます。

今年度の「第27回松本市平和祈念式典」及び「平和の集い」における実行委員の皆様からのご尽力に対しまして、心から感謝申し上げます。

さて、本来は実行委員会を開催し、来年度に向けての反省やご意見等をお聞きすべきところですが、新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、書面での提出に代えさせていただきたいと思えます。

また、来年度以降の折鶴献呈の方法について事務局案を作成しましたので、ご意見を賜りたく存じます。

ご多忙のところ恐縮ではありますが、下記のとおりご提出いただきますようお願い申し上げます。

記

1 提出書類

回答書 別紙のとおり

2 提出方法

FAX、電子メール、郵送のいずれかの方法でご報告ください。

※電子メールの場合は、様式によらない報告で結構です。

3 提出締切

9月16日（金）

松本市	総務部	平和推進課
担当	井上	楓
電話	33-4770（直通）	
FAX	33-1877	
メール	heiwa@city.matsumoto.lg.jp	

回答書

委員氏名 _____

1 反省及び感想

(1) 第27回松本市平和祈念式典

次世代を担うこどもたちの発表から、平和への思いが強く伝わるいい発表であったと思う。

時間が伸びてしまったことについて、来年は時間通り進められるよう調整がいるのではないか。

(2) 平和の集い

時間はちょうどよかったが、音量が小さく聞き取りづらかった。

2 来年度開催へ向けての意見

3 来年度以降の折鶴献呈について

<事務局案>

第2回実行委員会のご意見を基に、式典内での折鶴献呈は廃止し、7月から8月14日までの期間、市役所本庁舎入口に献呈台を設けたいと考えております。また、隣に折鶴を折れる場所を設けます。式典当日は、式典会場に献呈台を移動し、会式前の受付時に折鶴を献呈できるようにします。

☒ 承認 ・ ☐ 不承認 ・ ☐ その他

【意見】

※9月16日(金)までにご提出ください。

松本市	総務部	平和推進課
担 当	井上	楓
電 話	33-4770（直通）	
F A X	33-1877	
メー ル	heiwa@city.matsumoto.lg.jp	

第 27 回松本市平和祈念式典・平和の集いの反省等まとめ

1 反省及び感想等について

(1) 第 27 回松本市平和祈念式典

良かった点

- ・時間がちょうどよかった。他 2 名
- ・子供の平和への発表は大変良い。次世代を担う小中学生の発表の場を今後も大事にしてほしい。他 1 名
- ・小中学生が登場した場面がとてもよかった。後世に永久に引き継いでいくという式典の意義を子どもたちが態度で示してくれたように感じた。
- ・熱中症の心配される時期だったが、曇天の為心配もなく、コロナ対策もしっかりされ、無事式典が行われとてもよかった。他 1 名
- ・敗戦の日を思い、平和を祈念する良い機会となった。
- ・平和への思いを強く感じ、新たに願う場になったと思う。

改善点

- ・折鶴の設置場所が中途半端に感じたので、置き場を事前に決めておく。
- ・時間が延びてしまったことについて、時間通り進められるよう調整が必要

その他

- ・今回の規模がちょうどよい。
- ・戦争の記憶風化と戦争を理解できない風潮にどのように対処すべきかが課題
- ・若年層を含め、教育や伝播が必要。
- ・コロナ収束の暁にはウクライナ情勢をひとつの契機として、改めて平和について考え、多くの市民に関心を持ってもらいながら、参加者が増えることを期待する。

(2) 平和の集い

良かった点

- ・タイムリーな話題で、ロシア・ウクライナの歴史をわかりやすく講義していただいた。他 2 名
- ・時間がちょうどよかった。他 1 名

改善点

- ・聴講者が少なく残念であった。他 1 名
- ・講演が学術的すぎて難しく感じた。
- ・講演内容が今一つという感じを受けた。
- ・内容が解説的で、もっと聴衆の心に訴えるものが欲しかった。他 1 名
- ・マイクの音量が小さく残念だった。他 2 名
- ・簡単な手元資料を配れるとよい。またはダウンロードできる URL、QR コードの掲載。
- ・写真や映像など視覚的アプローチがあるとよい。美甘先生について、海外で

の研究歴や子どもたちとの平和学習等ご紹介を入れてもよかった。

その他

- ・21世紀にあっても全世界のどこかで紛争が絶えないことに危機感を覚える。戦争がもたらす意味を想像できるような基調講演などができるとうい。

2 来年度開催に向けての意見等について

開催内容

- ・内容が地味すぎないか。
- ・実行委員会を組織して催す以上は企画段階から実行委員会で検討をすべき。
- ・ロシア・ウクライナ紛争を通して平和を考えるいい機会になったが、戦争体験を次の世代につなぐ機会が松本でも必要ではないか。
- ・コロナが治まったら、一般の方の参加を呼びかけ、多くの方に参加していただきたい。他1名
- ・平和の集いへのお子さんの参加が増やせるとよい。
- ・真夏の時期の開催のため、時間に配慮し、簡潔で心に訴えるものでありたい。
- ・小中学生の発表を今後も大事にしてほしい。
- ・恒久平和の実現に向け、地道ではあるが来年以降も開催すべきである。
- ・平和の集いについて、周知方法を再考すべき。
- ・コロナ感染を心配しなくてもよい状況になるまでは、今年度の方でよい。
- ・熱中症対策のことを視野に入れることを忘れないようにしたい。
- ・平和三行詩コンクールの冊子を読み、戦争経験者やご遺族の方々の言葉に心動かされた。
- ・戦争を知らない子供たちから若い世代までを中心に平和の尊さや戦争の愚かさなどのメッセージを発信し続けることが肝要。式典の意義は戦争をしない国民・市民にとっての必然性を高めなければならない、この伝統を引き継いでいくことが次世代に対する責務である。

3 来年度以降の折鶴献呈について

承認12名 その他1名

ご意見

- ・もう一度考え、話し合ったらと思う。
- ・例年献呈いただいている皆さん含め、多くの市民に伝わるよう広報していただきたい。
- ・折鶴作業については、あくまで気持ちの問題で、強要できるものではないが、なぜ折鶴＝平和？なのかを改めて知っていただくことも大切だと感じます。広島平和記念公園に建立されている「原爆の子の像」のモデルとなった佐々木禎子さんのエピソードが語る希望と祈り。